



T O K Y O ROPPONGI ROTARY CLUB

東京六本木ロータリー・クラブ



W E E K L Y R E P O R T

風に向かって、風とともに

東京六本木ロータリー・クラブ会長

2012年11月19日発行 第336号

2012-2013年度 No. 16



本日のプログラム

平成24年11月19日

卓話 『オーケストラと指揮者の役割り ～高度の専門家集団とそのリーダー～』

会社役員／音楽プロデューサー

中野 雄 様

プロフィール

1931年 長野県松本市生まれ。東京大学法学部卒業後、日本開発銀行（現・日本政策投資銀行）を経て、オーディオ・メーカー（株）ケンウッド代表取締役 兼 ケンウッドUSA会長。昭和音楽大学、津田塾大学非常勤講師も勤める。
現在、映像企画（株）アマナ・ホールディングス常

任顧問等勤務の傍ら、音楽プロデューサーとして内外で活躍。レコード制作でウィーン・モーツァルト協会賞、芸術祭優秀賞等を受賞。
著書は『丸山眞男 音楽の対話』『ウィーン・フィル音と響きの秘密』（文春新書）、『指揮者の役割』（新潮選書）等多数。

クラブからのお知らせ [11月12日]

● 松島会長挨拶

- 最近、NPO、企業、芸術の部門で活躍中の女性と接する機会がありました。
皆さん強い使命をもっているのに感心しました。人口が減少過程にある中で、最強の、しかし稼働されていない資源は女性です。もっともっと多くの女性が仕事につき、真つ当に評価されることが必要です。その意味で、本日の卓話を大変楽しみにしています。

● 関口幹事報告

- 2012-13年度「RI表彰」及び「地区表彰」について
2012-13年度「RI表彰」及び「地区表彰」の一覧表を各会員に配布しましたので、ご一読頂きまして、当クラブ及び当クラブ会員の受賞に向けてご協力をお願い申し上げます。

● 山本新世代委員長より

- 11月19日の例会後、箕小中学校との共同プロジェクトとして、ハリウッド・ビューティプラザ前の花壇の花の植え替えを行います。集合時間は生徒さんと先生方の授業が終わり次第で、15:00前後から開始を予定しています。作業は約30～40分程度ですので、ご協力頂ける方は14:30位に作業のできる服装で、花壇の脇にお集まりください。
昨年の大震災以降に箕小中学校が「ボランティア委員会」を立ち上げられ、5～6年生を対象に選抜された13名の生徒さんと、校長先生をはじめとする4名の先生方の引率で、今回は合計17名の皆さんがいらっしゃいます。当クラブ会員にも多くのご参加をよろしくお願い致します。

● 鈴木ロータリー財団委員長より

- 今月11月はロータリー財団月間で、恒例の「毎年あなたも100ドルを」の年次寄付のお願いでございます。ご承知の通り、これは必要に応じて人道的、教育的そして災害時にも使われる寄付です。
今月から私を始め、委員の皆さんのお助けを借りまして、アプローチをさせていただきますので、是非とも皆様おひとり1万円の寄付のご協力をよろしくお願い致します。

● 今村米山奨学委員長より

- 現在、米山特別寄付をお願いしておりますが、新たに米山梅吉記念館より100円募金のお願いがきております。米山梅吉記念館は賛助会費、助成金、地区寄付、特別寄付、事業資金寄付等により賄われているのですが、この100円募金というも運営に欠かせない寄付となります。昨年度は第2750地区で28万円の募金が集まりました。本日は箱を回させていただきますので、そちらに100円の寄付をお願いしたいと思います。
また、記念館には年間3,600人のロータリアンの訪問があるとのこと、今後も移動例会や集会等の際に是非利用して頂きたいと思っております。



平成24年11月5日

卓話 『日本の音楽と世界の音楽』

一中節 宗家

都 一中 様

私は日本の音楽文化の精緻な構築力と深い精神性を伝えたいと思っています。特に一中節はそれを備えています。紀貫之は一中節と深い縁があって、一中節の一番大切にしている辰巳の四季という曲は紀貫之の歌で始まります。彼の歌には歌徳神話伝説が生まれたくらい、歌、言霊に力がある。その曲の最後は「四海波風静かにて 治まる国こそ久しけれ」といい、これが一中節300年の伝統を繋ぐコンセプトです。一中節は元禄時代に僧侶によって始められました。これを聞く方、演奏する方に幸せが来るようにという願いです。

三味線は中国から伝わったという説が主流で、琉球を経由したという説もあります。日本に三味線が入った時に琵琶法師がまず手にしたので、琵琶の撥と同じような形のものを使って上から糸を引っ掛けて弾きます。撥が弦を離れるときの離し方で情緒を作る。軟らかい穏やかな場合はゆっくり離し、雲行きが怪しくて激しい雨が降って来たなんていうときは瞬間的に弾きます。あと掬いといって後側から弾くこともあり、左手による弾きもあります。この弾きとか掬いとかを利用して、いろいろな状況を表していきます。

三味線はチューニング、調子を合わせることが大事です。種類は大きく3種類あり、本調子は一番基本になる調子。真ん中の二の糸を一音上げると二上がりで、ちょっと派手な感じ。一番細い三の糸を一音下げる三下がりには華やかな感じになります。



チューニングは英語で調和するとか気分とか機嫌という意味ですが、まさに自分の気分が音に出てしまう。だから私たちは朝起きるとまず三味線の調子を合わせます。三味線の調子は自然現象ですから三味線というツールを使って自然の摂理と自分の精神を一体化させるのが調子を合わせるという作業です。

日本の音楽と世界の音楽を繋ぐキーワードは音階です。ドレミファソラシドが近代ヨーロッパ音階で7音音階。日本の音楽は5音音階、ペンタトニックといって1オクターブの中に5つしか音がない。日本人の原初からあるもので、いわゆる民謡の音階です。それから日本には雅楽という音楽が入って来て新しい音階ができます。日本人というのは歴史的に常に外国人になりたがる民族なんだそうですね。雅楽が入った頃は隋とか唐の人になりたがって、聖武天皇なんてほとんど中国の皇帝だか何だかわからない恰好してる。そういう意味で少しオフィシャルな感じ。だから本音よりちょっと居住まいを正してものを言おうなんてときに使い、「君が代」はこの律音階で出ています。平安時代の末期に後白河法皇が好んだ今様の音階はほとんどこれで歌われています。

三味線音楽に漫才があります。漫才は日本の古典芸能の原点と言われ、訪ねていったお屋敷のご主人の幸せを祈るんです。人の幸せを祈るって抽象的で難しいけど、漫才という歌を使って祈ろうということです。

皆さまの幸せをお祈りして今日の卓話を終わります。





創立8周年を迎えて

東京六本木ロータリー・クラブ
 パスト会長(2007-2008)
 荻田 吉夫

『毎週顔を合わせる特別な友人』



ロータリー活動の大ベテランである初代小竹会長、二代目水島会長のすばらしい足跡の後を受けて、ロータリーにはずぶの素人の私が3代目の会長を務めました。先人の路線を守りながら楽しく有益なクラブとして発展するよう日々努力したことが良い思い出となっています。その後会長となられた歴代の皆さんの大活躍で、私たちのクラブが着実に大きく発展してきていることをとても嬉しく思っています。

考えて見ますと、毎週一回出席する会合は滅多になく、毎週必ず会う人は、家族か恋人か会社の同僚以外にはまずありません。ロータリーの友人が如何に大切な存在かに思いが至ります。例会では話す機会が少ないので課外活動も大事ですね。お互いにもっと深く知り合い、助け合い、この貴重な会を更に楽しく有益なものにしていきたいものです。そして毎週1時間の集いの場が、超多忙の会員の毎日の中でオアシスのようなひとときとなることを願っています。

まもなく10周年。盛大にお祝いしましょう！

2012年11月13日 六本木ロータリーワイン同好会

11月13日(火) 19時より、六本木ロータリー・クラブワイン同好会が、本年6月銀座並木通りにオープンした話題のフレンチ、ESqUISSE(エスキス)で、10名のご出席を頂き和やかに開催されました。

リオネル・ベガシェフ、成田パティシエ、そして支配人の若林さんがタッグを組んで織り成すお料理、ワイン、デザートには感動！

ワインを頂くごとに会話も弾み、いつもながらエレガントで楽しいワイン会となりました。秋津会員のお持ちいただいたビンテージの「ジゴンダス」にも感動させられました。次回また多くのご参加をお待ちしております。



(記: 渡辺美智子会員)



ニコニコBOX情報

齋藤 明子さん

ご無沙汰しております。今月はお誕生日月。
また年を重ねますが、本人の成長がまだみえない今日この頃。これからもよろしくお願いいたします。

片岡 雅敦さん

来週例会終了後、算小学校の生徒さんとの花壇づくりにご参加よろしくお願いいたします。

中川 勉さん

すっかり秋ですね。街路樹も色づいて。

小篠 ゆまさん

坂東眞理子さん、本日の卓話楽しみに致しております。
どうぞ宜しくお願い申し上げます。

小竹 直隆さん

東京都知事選に立候補した松沢成文氏が、選挙公約の一つとして、江戸城再建を高らかに掲げられました。
あとは、松沢さんの当選の晩に、皆さんと一緒に乾杯したい・・・と願っています。

末松 亜斗夢さん

カゼに気をつけましょう。

杉本 潤さん

末松さんの入会歓迎。

松島 正之さん

坂東先生、今日のご多忙のところご出席ありがとうございます。
スピーチを楽しみにしています。

今村 道子さん

坂東眞理子様、本日の卓話、大変楽しみにしております。

宇佐見 千嘉さん

紅葉も色増して、秋もたけなわとなってまいりました昨日今日でございます。坂東眞理子学長、本日の卓話楽しみにさせていただきます。

森 佳子さん

坂東様、本日の卓話楽しみにしております。
末松さん、新会員にようこそ。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

安井 悦子さん

坂東眞理子様、むか～しの女子大生ですが、本日の卓話を楽しみにしておりました。よろしくお願いいたします。

鈴木 エドワードさん

先日、鎌倉ロータリーで「卓話」をさせていただきました。
一面海を見下ろす、2窓分の窓ガラスの気持ちよい会場でした。

山本 良樹さん

フットサル日本代表はベスト8ならず。ちょっと残念。

11月12日	合 計	46,000円
	累 計	725,000円

11月お誕生月の会員

齋藤 明子さん



『今週の言葉』

「恋せずは人は心もなからまし、
もののあはれもこれよりぞ知る」 藤原 俊成

王朝文化の華は和歌である。古今集など勅撰集の中心は恋歌だ。宮廷文化の担い手である女房にとって、仮名文字の歌は社交手段であり、貴族の恋愛に和歌は欠かせなかった。そして、色恋を四季の移ろいの中で捉え、「もののあわれ」という情緒を愛でた。対照的に、中国の詩人は、恋愛を歌にはしなかった。
(松島正之会長)

11月12日の例会出席率 (暫定)

・会員の例会出席数 (出席率)	34名 (72%)
・ゲスト・ビジターの参加者数	4名

※ メーキャップを含めていない暫定の人数です。



森の町内会
間伐に寄与する紙
www.mori-cho.org

この印刷に使用している用紙は、森を元気にするための間伐と間伐材の有効活用に役立ちます

次回のプログラム

平成24年11月26日

卓話『人生をデザインする』

ファッションデザイナー／アーティスト
コシノ ヒロコ 様

プロフィール

大阪、岸和田市生まれ。文化服装学院在学中よりキャリアを重ね、東京、大阪、パリ、ローマ、上海などでコレクションを発表する一方、世界各地で異分野のアーティストとのコラボレーションによるイベントも開催してきた。HIROKO KOSHINOの名で5つの婦人服ブランドを展開するほか、バッグや靴などの小物、ライフスタイル関連グッズ、紳士服など、数多くのファッションアイテムのデザインを手がけている。
近年は絵画・書画のアート作品を発表する機会も多く、2012年には自身の作品を発表するスペースとして銀座にKHギャラリーをオープン。
1997年第15回毎日ファッション大賞、2001年大阪芸術賞受賞。

東京六本木ロータリー・クラブ

会長 松島 正之 幹事 関口 明博

広報・週報 委員 長 安井 悦子

広報・週報 副委員長 渡辺 美智子

事務局》〒106-0032東京都港区六本木6-10-3グランドハイアット東京内 TEL:03-4333-8773 URL:http://www.tokyoroppongi-rc.jp/